

アクア×イグニス多気（仮称）造成事業に係る環境影響評価方法書に対する 三重県環境影響評価委員会の調査審議結果（答申）

（総括的事項）

- 1 準備書の作成までに環境影響評価の項目及び手法の選定等に係る事項に新たな事情が生じた場合には、必要に応じて、項目及び手法を見直し、追加調査を実施すること。
- 2 調査、予測及び評価を行うにあたっては、既存の文献、類似事例等を参考にしながら、環境影響について可能な限り定量的な把握に努めるとともに、知見が不十分で予測、評価に不確実性が伴う場合には、事後調査を計画すること。
- 3 環境保全措置の検討にあたっては、環境影響の回避・低減を優先的に検討し、代償措置を優先的に検討することがないようにすること。

（個別的事項）

1 騒音

施設供用後においては、来客車両等の集中による渋滞の緩和策について検討するとともに、影響を受ける可能性のある地点については、渋滞する場合に発生する騒音を考慮し、調査、予測及び評価をすること。

2 水質

- （1）事業実施区域の集水区域流末には、宮川に通じている濁川（にごりがわ）があることから、工事による濁水が直接流入することが無いように配慮すること。
- （2）事業の実施に際し、造成等により、流出量の増加による河川への負荷がかからないよう流出抑制対策を講じるとともに、近隣河川の流域を変更しないよう検討すること。

3 地下水、地形・地質、土壌

丹生付近では水銀の原料である辰砂が採掘されていたこと、また、この地域の辰砂には、ひ素を含む鶏冠石が随伴する可能性があることを踏まえて、土壌及び地下水に係るこれらの項目について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

4 人と自然との触れ合いの活動の場

事業実施区域内には、水銀の採掘鉱跡等が多数存在すると考えられるため、利用が想定される場所において、予め採掘鉱等の調査を実施し、事故防止策を講じること。

5 陸生動物、陸生植物、水生生物、生態系

- (1) 緑化については、種子の流出による下流域への影響が考えられるため、可能な限り在来種を使用する計画とすること。
- (2) 土地改変による生態系等への影響が考えられるため、その影響を可能な限り回避・低減することを検討し、現況からの改変部分が極力少なくなるようにすること。
- (3) 事業実施区域は、大台町に隣接しているため、調査に使用した既存文献に記載のない大台町の文献についても確認を行うこと。
- (4) 温浴施設から放流される温排水について、敷地内で温度を下げる等により河川の水生生物等へ影響が及ばないようにすること。

6 景観

事業実施区域は、高速道路や国道に隣接しており、道路上から事業実施区域の眺望があると考えられるため、調査地点として追加すること。